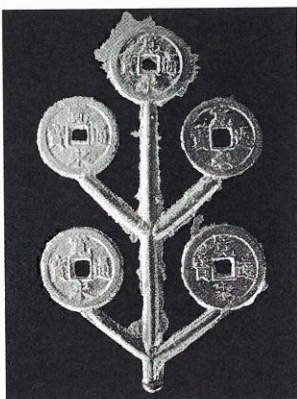


二戸のお金づくり②  
江戸時代から明治時代の初めまで、いたるところで偽金は造られていました。前号で紹介した浄法寺ばかりでなく、仁左平でも行われていました。



寛永通宝の枝銭

仁左平地区の民俗について書き記した資料によると、仁左平の沢内地区で偽金造りが行われていたとされています。偽金は人通りの少ない山の中、炭焼き小屋のような所で、少数で造られていました。この辺りの炭焼釜の跡で、「金くそ」と呼ばれる、鉄精錬の時に出る不純物のかたまりがよく拾われていたそうです。

ちなみに、軽米で造られていたのは鉄を使った鉄貨で、浄法寺のものは銅を使って造られた銅貨です。仁左平では金くそが拾われたことから、軽米と同じ鉄貨が造られていたと考えられています。

仁左平で造られた偽金は、大迫や釜石に送られていたとされていますが、その当時偽金造りの職人の間で流行の唄として歌われていたのが「銭座節」です。銭座節は縁起のいい歌とされて、今でもお祝いの席などで唄い継がれています。

「古銭づくり」は埋文センターでも体験できます。



# こみゅにTeaたいむ

12冊目

## お手軽サイズのガイドブック 「二戸なるほど歴史カード」

九戸城跡を活かしたまちづくり協議会（堀内正人会長）と市地域づくり推進課で「二戸なるほど歴史カード」を作りました。このカードは、二戸にゆかりのある人物や名所などを紹介するもので、ポケットに入る大きさで、持ち運びも便利になっています。

第1弾は「九戸城 九戸政実」と「二戸先人の顔 田中館愛橘」の2種類です。

「九戸城 九戸政実」は、九戸城の歴史や九戸政実の生涯、そして九戸城についてイラストで紹介しています。

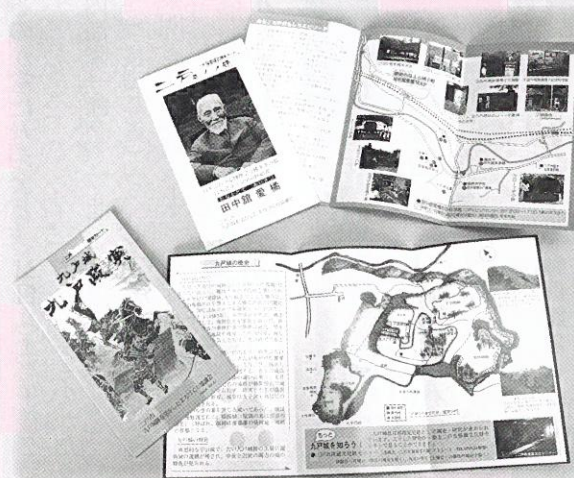
「二戸先人の顔 田中館愛橘」は、日本の物理学界の基礎を築いた博士の功績やおもしろいエピソード、ゆかりの場所についてイラストを交えながら紹介しています。

皆さんもこのカードを手にし、九戸政実と田中館愛橘の心を感じながら、2人のゆかり

の地を歩いてみてはいかがでしょうか。

今後、第2弾を考えておりますので、楽しみにしてください。

「二戸なるほど歴史カード」は、地域づくり推進課（市役所内）のほか、シビックセンター、カシオペアメッセなにゃーと、浄法寺総合支所などで配布しています。



ポケットに入れて散策してみませんか

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線655）まで